

# 令和5年度 年間授業計画

都立南平高等学校

学年 必・選	3 年選択	教科	数学	科目	数学Ⅰ・A演習	単位 数	2
教科書	改訂版 高等学校 数学Ⅰ，数学A (数研出版)			使用教材	学校専用 共通テスト 分野別演習 数学ⅠA/Ⅱ (Z会)		
授業 担当者名	久保、金井						

		指導内容	指導目標	予定 時数
一学期	中間 考 査	第1章 数と式 (1)式の値 (2)絶対値を含む方程式・不等式 第4章 集合と命題 (3)集合 (4)必要条件・十分条件 第2章 2次関数 (5)放物線の平行移動 (6)2次関数の最大・最小	・基本事項と基本的な考え方の把握に重点を置き、頻出問題が確実に解けるように演習する。 ・工夫し計算を効率よく行えるようにし、応用的な問題にも対応できる思考力を身につける。 ・集合と論理の基本を学び、命題の真偽や必要十分条件を考えることができる。 ・2次関数の標準型、一般型の使い分け、放物線の移動、および軸に文字を含むタイプの最大・最小が解けるようにする。	14
	期 末 考 査	第2章 2次関数 (7)2次関数の最大・最小 (8)2次不等式 (9)放物線とx軸の共有点 第3章 図形と計量 (10)正弦定理・余弦定理 (11)円に内接する四角形 (12)空間図形と三角比 総合演習	・2次関数の定義域に文字を含むタイプの最大・最小、およびグラフとx軸の共有点の符号を理解する。 ・正弦定理や余弦定理、面積の公式等を活用し、三角比の計算・図形の面積・体積を確実に求められる。 ・数学Ⅰ・Aの範囲について、総合演習を行い、幅広く知識の定着と活用を図る。	16
二学期	中間 考 査	第6章 場合の数と確率 (16)場合の数・順列・組合せ (17)確率の基本 (18)反復試行の確率 (19)条件付き確率 第8章 図形の性質 (20)(21)平面図形 (22)空間図形	・事象の理解、場合の数の計算・確率の計算をできるようにする。 ・やや応用的な場合の数・確率の計算ができるようにする。 ・基本的な図形の知識を身につける。 ・チェバの定理、メネラウスの定理、方べきの定理などの理解を確実にする。	14
	期 末 考 査	第7章 整数の性質 (23)約数と倍数 (24)方程式の整数解 (25)整数の種々の問題 第5章 データの分析 (26)データの分析	・整数を扱い、数への理解を深める。 ・データの扱い、基本的な知識を身につける。	16
三学期	学 年 末 考 査	個別総合演習(共通テスト対策演習)	・個別に総合演習(共通対策演習)を行い、力をつける。	10
	計			70

評価の 観点・方法	通常の定期考査の得点を基本とし、総合的に評価を行う。
--------------	----------------------------

